

日本赤十字豊田看護大学特別講演会

看護の魅力と可能性



川嶋みどり
日本赤十字看護大学

自己紹介に代えて

私は、韓国ソウルで生まれ、木浦(マポ)釜山(プサン)から中国徐州、北京、そして再びプサンを経て北京で敗戦を迎え、中国山西省の太原から鳥根県の江津に引き揚げてきました。小学校5回、女学校を4回転校しました。そして、上京し日赤女専で3年間、聖路加女専と合同の濃密な基礎教育の後、日赤中央病院に20年、その後もずっと看護の仕事から離れず58年、そのうち50年間は、看護師であるとともに、妻として母として主婦としての生活。個人的な日々の生活のありようさへも、私の看護の糧になっています。それは、看護が、人々の暮らしの中から生まれた専門職であることも深く関係している故と思われます。戦後60余年、看護界の移り変わりをじかに体験しつつ、何時でもベッドサイドケアに目を向け、そのレベルアップの方法を考えてきたこと、休まず看護師であり続け、今なお現役で働いていることに感謝するとともに、その責任を感じる日々です。

看護を愛するからこそ

看護が歩いて来た道 先輩たちの喜びと苦悩
そして経験の蓄積に学びながら
看護は今何処にいるのか
状況を深く理解し
これから歩く道を自分で切り拓くために
共通のキーワードは何かを
愛する看護のためにあなたに伝えたい！
その魅力と大きな可能性を

もう1度—この道を志した初心は？

『この道を選んで良かった！』
心の底から胸を張って言えるその日のために
看護の魅力を探り
可能性についてともに考えてみましょう。

魅力：人の心を引きつけて離さない不思議な力
可能性：今はそうではなくても、実現する見込み
のあること そこで先ず…

看護現場の“いま”

鳴り響く危険信号

患者の重症化・高齢化
在院日数の短縮 リスクマネジメント
電子カルテ…
絶対的な人員不足：過重・過密労働の慢性化
業務終了時間をなし崩しにしたIT化
かってない過密・高速度回転の現場の状況

現実を正しく認識することからスタートし
厳しさを受け止めて飛躍すること



看護師58年—

看護の可能性を追求し

大変だけど～大変だから
看護大好き！
だって乗り越えた喜びは
他でもない私のもの
だから
仕事を継続した
新卒から今日まで



看護のどこがステキなの？

まずは新人時代・の経験に
未熟であっても真実は真実なのです

一垢だらけの少女の生命を救った清拭
一君は島を見たね

それらは数十年を経た今も、
看護観に、看護論の中に生きている

伝えたいこれが看護！



清拭で生命が救える？

少女トシエちゃんの清拭

清拭のあと彼女は言った
「看護婦さんおなかがすいた」

清拭は彼女の生命を救った！
短い人生ではあったけど
9才の女の子らしく生きた！



いったい何が起きたのだろうか？

答えは看護覚え書(ナイテングール)
の中にあつた

「生命力を圧迫していたものが
取り除かれて 生命力が
解き放たれたその徴候
のひとつ」

生活行動の価値づけを教えてください

安全性とは安楽性とは何かを

熱湯とタオルと看護師の心があれば
生命だって救えることを！



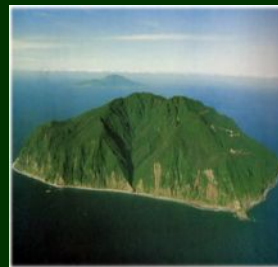
君は島を見たね

海は広いな大きいな
月が昇るし日が沈む

我は海の子白波の

あした浜辺をさまよえば

『ウイ(海)ウイ(海)』



キタロウの海からどのような仮説が

その後の看護・研究に役立つ仮説

* 人生のできごとの場の共有
* その人の生い立ち、生活、文化のなかのキーワードが意識回復
のヒントに

その人の懐かしい思い出

楽しいできごと

自慢話 好物

大好きな人 風景

看護師として 看護大好きの源泉に
人間の可能性への信頼に

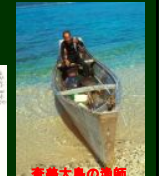
認知症 高齢者へのアプローチ



人生途上の楽しい記憶

楽しいできごと
生き甲斐のあつた仕事
大好物(食べ物)
好きな人
懐かしい風景

症状が和らぐ
時に治ることも
あるのです



死の瞬間までその人らしく生きる

その人のひたむきに生きる姿から
友人富沢みえとのナラティブ

私のからだを提供するから
「プロと言えるナースに」と
願った吉田恵子



友人富沢みえの終末

「ねえ看護って何だろうねえ
「看護婦って
何をする人なんだろうねえ」
「人間って口から食べなければ駄目！
だってねえ 力がでないもの」

妻はレスピレータでおまけの生を36時間
生きた。だが食事援助によって週単位の生を



二人で創る看護ナラティブ
「看護って何？」を問い続ける彼女

とっさに答えた私の言葉

「看護師にとって最高の教師は患者さんのよ」

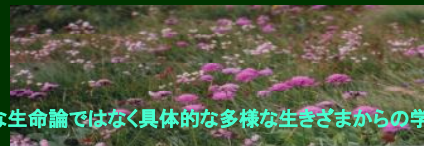
『いいこと聞かせてくれた！そうよ、そうよ、
私は看護師の良い教師としての患者になるわ』

聞き手の感性が1つの言葉に生命を与える

生まれて生きて良かった生を全うすることをめざして

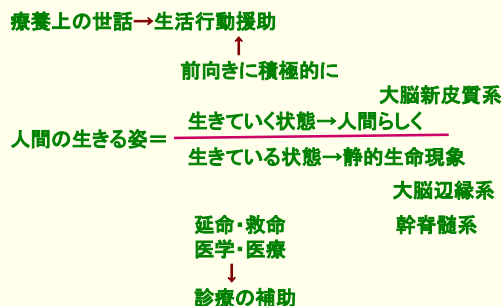
生命の積極的肯定

生命過程における死の必然性を認めた
上で生命を積極的に肯定する



抽象的な生命論ではなく具体的な多様な生きざまからの学び

保助看法の看護論的アプローチ



病院に行くと妻に逢える
妻は私の生き甲斐
生きているって素晴らしい！



社会復帰不可能な植物状態の妻、
生きていること自体が夫の生き甲斐→誰かの何か
の役に立つ存在としての人間の姿

療養上の世話—気持ちよいケア

しごく当然なことを
しごくふつうに
さりげなく行い整える



免疫力
出鱈目

それが患者さんの
自然治癒力を高める
ことをあなたは信じる
ことができますか

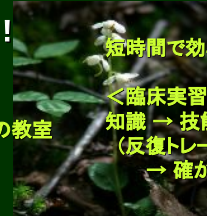
その人らしさ



看護大好きは キャリア開発の第一歩

未熟でよい！

経験の中から学ぶ
臨床は最高の看護の教室
患者は最高の教師



短時間で効率的に修得する方法

＜臨床実習のあり方＞
知識 → 技能訓練
(反復トレーニング)
→ 確かな実践力へ

とはいえ決して楽ではない看護

大変！だからできない、のではなく
大変さを乗り越える鍵があります

優れた看護実践

「石にかじりついてこの仕事を！」



その気概の源泉こそ、優れた看護実践

優れた看護実践とは

たとえそれが1回限りの実践であっても、後日
「あのときのあの経験と同じ」という共通性を含む。
そこから引き出される真理は年月を経て有用である。
未熟な時代の経験であっても真実は真実であることを
を忘れないで。

あなたのことばで記録して
おきましょう。



学びましょう優れたわざを 求めましょう看護の可能性を！

心に残った場面・人・実践を語ること

臨床は無限のナラティブの宝庫
意識的な実践と看護師の感性で

↓
その場面・その体験の再現 → 法則性に通じる仮説

↓
よりよい看護実践・研究へのヒントがいっぱい

本当の優しさは自信があってこそ

- だから学ぶのです知識を
- だから技術に習熟するのです
- だからより専門的に
- 裾野の広い人間性を育て
- トレーニング、そしてトレーニングを積み上げて
- ケアを通して成長し

看護の魅力をこの手に

赤十字看護の今と未来

赤十字の基本原理は看護の本質そのもの
時代と社会のニーズに応じて
赤十字看護の伝統を継承発展させ
臨床知に基づく判断力と実践力を鍛え
何時でも何処でもケアリングの専門職として働けるように



看護師58年からのメッセージ

看護本来の輝きを発揮するために
受け身ではなく能動的に
専門職の道は自分で切りひらく気概を
説明できる看護のために
普通の言葉で語る
経験知をおろそかにしない
科学的根拠を探る
困難を引き受ける者がもっとも成長する

21世紀を看護の時代に

チャレンジャーとしてのあなたに

人々から信頼される真の専門職になるように
限らない看護の可能性を
実践で、研究で探索し、
学問として、職業として、魅力のある看護
人間が人間をケアする価値を
先ず自分で確かめ、多くの人に伝えましょう。



(ナイチンゲール)

看護は学んでも尽きることはない一つの道。
もし私が病気になって看護をできなくなったら、私は看護して下さる方々から看護を学びましょう。